

シンポジウム

横浜の豊かな緑を

次世代につなげるために

開催日／平成20年7月21日(祝)

会場／はまぎんホールヴィアマーレ

時間／13:30～16:00 開場／13:00

定員500名 ※事前申し込み制で定員を超えた場合は抽選

入場無料

横浜の緑の現状と課題をみんなで認識し、これらの緑を次世代につなげていくために、どのように緑を守り・創造していくのか、そのために誰がどのように負担をしていくべきかなど、私たちが横浜の緑のために何ができるのかを考えます。

プログラム

【基調講演】水と緑とまちづくり

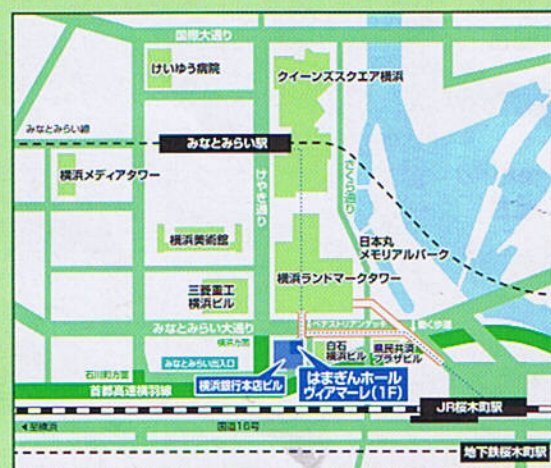
伊藤 滋 早稲田大学 特命教授

【緑の現状説明】横浜の緑の現状について 横浜市環境創造局

【パネルディスカッション】

横浜の緑のために私たちができること

- | | | |
|----------|--------|---|
| コーディネーター | 進士 五十八 | 東京農業大学地域環境科学部 教授
(横浜市環境創造審議会 副会長) |
| パネリスト | 青木 宗明 | 神奈川大学経営学部 教授
(横浜市税制研究会 座長) |
| | 池邊 このみ | 株式会社ニッセイ基礎研究所 上席主任研究員
(独立行政法人都市再生機構 都市デザインチームリーダー) |
| | 志村 善一 | 横浜農業協同組合 代表理事会長 |
| | 菅原 哲朗 | 日本農業新聞 社長 |
| | 吉武 美保子 | NPO法人よこはま里山研究所NORA 主任研究員 |



会場アクセス

【JR・横浜市営地下鉄線】
桜木町駅下車 動く歩道利用5分

【みなとみらい線】
みなとみらい駅下車
「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」より徒歩7分
※駐車場のご用意がございませんので、ご来場の際は、公共の交通機関等をご利用くださるよう、お願い申し上げます。

横浜の豊かな緑を 次世代につなげるために

横浜の緑がピンチです! ...横浜の緑は大きく減少し、今も減り続けています。



[40年前の横浜の緑]1970年
(緑被率: 約50%)



[30年前の横浜の緑]1980年
(緑被率: 約40%)



[現在の横浜の緑]2004年
(緑被率: 約31%)

緑の減少に伴う様々な課題



市内の緑の多くは民有地で、所有者の方々の様々な努力により守られています。しかし、「日常の維持管理が大変」、「相続税等の負担が大きい」、「高齢化や農業後継者がいない」などの事情から、所有者の方が土地を手放すことがあり、開発等につながりがちです。

参加申し込み方法

ハガキ、FAX、E-mailにて事前申し込み制

ハガキの場合

シンポジウム名・住所・参加者全員の氏名(事業者の方は別途企業名もご記入ください)
連絡先(電話番号)をご記入いただき下記あてに郵送してください。
〈宛先〉〒231-0017 横浜市中区港町1-1
横浜市環境創造局環境政策課

FAXの場合

下記申し込み用紙にご記入いただき、
下記番号に送信してください。
FAX:045-641-3490

E-mailの場合

シンポジウム名・住所・参加者全員の氏名(事業者の方は別途企業名もご記入ください)
連絡先(電話番号)を記載のうえ下記アドレスまで送信してください。
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp

※参加希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
(結果については、抽選に漏れた方にのみご連絡いたします。)
連絡がない場合は、当日会場へお越しください。
※申込時にご記入いただきました個人情報につきましては本事業以外の用途には一切使用致しません。
※手話通訳をご希望の方は、事前にご連絡ください。

申し込み締め切り ▶ 7月15日(必着)

(申し込み状況に余裕がある場合は、締め切り後も受け付けますのでご確認ください。)

お問い合わせ:【横浜市環境創造局総合企画部環境政策課】

☎045(671)4102 FAX045(641)3490 E-mail ks-mimiplan@city.yokohama.jp

FAX参加申し込み用紙

お名前

*参加者全員のお名前をお書きください。

ご住所 〒

*郵便番号・ご住所を必ずお書きください。

連絡先
(電話番号)

*日中連絡の取れる電話番号を必ずお書きください。